



【①エントランス広場】
 森を模した樹状の三角形による柱デザインで「葛巻らしさ」を表現し、総木造の構造で新たな拠点のシンボルに

【②エントランスホール】
 行政機能の入り口には総合案内を配置し、白を基調にワインカラーで表示

【③行政機能・窓口】
 人の往来が多い廊下の天井は町産材の羽板を配置するほか、応対カウンターにも町産材を活用

【④図書スペース】
 間仕切りをガラスにすることで廊下と一体感がある明るく温もりのある空間に

【⑤議場】
 天井、壁などに町産材を多用することで品格のある空間を演出、カーペットはヤマブドウを模して紫色に

【⑥多目的ホール平土間使用時、⑦観覧席配置時(1階観覧席から)、⑧観覧席配置時(ステージ側から)】
 床、壁に町産材を使用し、親しみのあるホールに
 壁面の羽板は音響拡散機能を備えるほか、観覧席は黒色の布地を基調にしながらも不規則にワインカラー、ぶどう色、緑色など配色し、ホールの華やかさも演出

